

施策番号	0804		
施策名	伝統産業の活性化と新たな展開の推進		
概要	京都の基盤産業である伝統産業の活性化を図るため、事業者等による新たな販路開拓の取組に対する支援事業、普及啓発、技術の継承や後継者の育成などの施策を積極的に展開する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する 主な分野別計画等	第2期京都市伝統産業活性化推進計画		

施策の評価

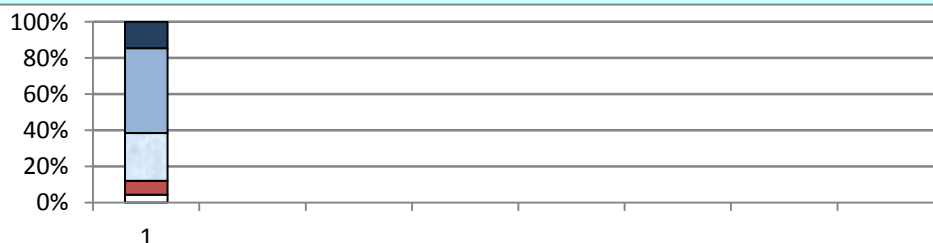
1 客観指標評価

指標名		23年度	24年度	25年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウエイト
1	伝統産業製品の出荷額(億円)	a	a	2,477	1,864	2,730	68.3%	b	1.00
2	伝統産業に接したことがある市民の割合(%)	a	a	200.5	186.6	220	84.8%	a	1.00
3	「伝統産業の日」事業の来場者数(人)	d	c	246,241	221,987	300,000	74.0%	d	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	a	客観指標総合評価				b	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		25年度回答						
		そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思わ ない	そう思わ ない	有効回答 者数	評価
1	京都の特色を生かした産業活動が行われている。	74	238	134	39	22	507	b
		14. 6%	46. 9%	26. 4%	7. 7%	4. 3%		
2	-							-
3	-							-
4	-							-
5	-							-
		市民生活実感調査総合評価						b



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている							
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	b	<input type="checkbox"/> 市民の実感	b			
(重み付けの理由) 伝統産業の活性化施策の実績は、伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合などの客観的数値に表れるものであり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えため。							24年度	A
(原因分析) ・客観指標評価については、近年、減少傾向にある伝統産業製品の出荷額が昨年度から減少したため、b評価となった。また、「伝統産業の日」事業については、来場者減少により、d評価となった。 ・市民生活実感評価は昨年度同様b評価となり、やや良い状況を維持している。 ・このため、総合評価はB評価となった。							23年度	B

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		25年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		24年度 決算額	25年度 予算額		
1	「京都館」運営	122,746	126,027	良い	産業観光局
2	販路開拓、産地商品宣伝	49,603	52,989	良い	産業観光局
3	「わたしたちの伝統産業」の制作(きもの文化教育副読本)	2,359	3,163	良い	産業観光局
4	ファッション推進	4,805	5,105	良い	産業観光局
5	後継者育成事業	9,912	11,637	良い	産業観光局
6	技術功労者顕彰制度	15,181	16,821	良い	産業観光局
7	京都伝統産業ふれあい館運営	33,213	37,097	普通	産業観光局
8	「伝統産業の日」関連事業	30,737	28,111	普通	産業観光局
9	京の「匠」ふれあい事業	21,899	45,661	良い	産業観光局
10	伝統産業道具類等確保事業	2,384	2,501	良い	産業観光局
11	京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度	7,730	7,725	普通	産業観光局
12	京ものきらめきチャレンジ事業	14,229	—	かなり良い	産業観光局
13	隼より始めるプロジェクト	4,461	6,963	かなり良い	産業観光局
14	京ものユースコンペティション	—	7,390	—	産業観光局
15	琳派四〇〇年記念に向けての取組～現代に生きる琳派～	—	13,354	—	産業観光局
16	京もの海外市場開拓事業	13,777	—	かなり良い	産業観光局
17	京もの国内市場開拓事業	14,011	15,040	かなり良い	産業観光局
18					
19					
20					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・客観指標である伝統産業に接したことがある市民の割合の達成度は80%台ではあるが、伝統産業製品の出荷額や「伝統産業の日」事業の来場者数も目標値を達成できていないため、今後とも、首都圏や海外における「京もの」のPRや若手職人を対象とした新たな販路開拓、伝統産業に関する取組の支援や情報発信、「伝統産業の日」事業の充実を進めていく。
・また今後も、平成24年3月に策定した第2期京都市伝統産業活性化推進計画に基づいた積極的な事業の推進を図る。

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進				
-----	------	-------------------	--	--	--	--

指標名	伝統産業製品の出荷額（億円）					
-----	----------------	--	--	--	--	--

担当課	伝統産業課	連絡先	2 2 2 - 3 3 3 7		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

京都市指定の伝統産業製品を対象とした出荷額

2 指標の意味

伝統産業の活性化の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：業界アンケート調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	2,477	1,864	613億円減	2,730	平成18年度現況値（2,703億円）の1%増（京都市伝統産業活性化推進計画）	68.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要し、景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
a	a	b

備考

・集計時期の関係上、最新数値は23年度数値となる。また、最新数値の公表時に過年度数値を遡って修正することがある。
・平成23年度に「第2期京都市伝統産業活性化推進計画」を策定し、新たな数値目標を「減少率の縮小」としたため、26年度から目標値を変更する。

1 指標の説明

市政総合アンケートの「どのような場面で伝統産業に接したことがあるか」という設問に対する回答の割合（「接したことがない」という回答以外の合計）

2 指標の意味

伝統産業の普及状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：市政総合アンケート

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	22年度		数値	根拠	達成度
数値	200.5	186.6	13.9ポイント減	220	京都市伝統産業活性化推進計画	84.8%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

目標達成には相当の努力を要し、景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

23	24	25
a	a	a

備考

・平成23年度に「第2期京都市伝統産業活性化推進計画」を策定し、新たな数値目標を「伝統産業製品を使用する市民の割合の増加」としたため、次回、市政総合アンケートを実施した際は指標を変更する。

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進				
指標名	「伝統産業の日」事業の来場者数（人）					
担当課	伝統産業課		連絡先	2 2 2 - 3 3 3 7		
1 指標の説明						
「伝統産業の日」関連事業すべての来場者数の合計						
2 指標の意味						
「伝統産業の日」事業の取組状況を示す指標						
3 算出方法・出典等						
出典：「伝統産業の日2013」事業実績						
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	23年度	24年度		数値	根拠	達成度
数値	246,241	221,987	24,254人減	300,000	第2期京都市伝統産業活性化推進計画	74.0%
	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値						
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満			6 基準説明			
			目標達成には相当の努力を要するものの、目標を上回ることとは不可能ではないため、100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。			
7 評価結果						
23		24		25		
d		c		d		